

日時：平成31年1月30日（水）

会場：境采女小学校図書室

出席委員：柳原（副会長）、新木、南雲、宮田、大谷、
三澤、三木、川田、細谷、新井

欠席者：田島、廣川

事務局：大川（生涯学習課係長）
笠原（教務主任）

1 開会（15：05～）

2 副会長あいさつ

○柳原：先日の会議参加報告から

小学生に加え、中学生の地区行事参加についても考えていきたい。
本日はよろしくお願いします。

3 協議（議長：副会長）

(1) 第2回学校評価アンケート結果について

○事務局：学校評価アンケートの結果まとめを配布しました。委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。

- ・評価については、今年度の結果だけでなく、学年の追跡結果なども示すと、取り組みの成果がわかりやすくなるのではないか。
- ・評価の目標数値は、状況に応じて変える方がいいのではないか。
→学校では毎年児童の入れかえがあるので、それを考慮して、目標値を変動させるのではなく固定して設定している。（校長）
- ・組織運営の中での教員の悩みや問題解決の方法はどうなっているか。
→諸問題等については、学年組織などを中心に、学年主任から管理職へと情報が流れる仕組みをとっている。（校長）
- ・あいさつについては、高学年がよく出来ている。低学年の子には不十分な点が見られるが、現状としてはこの程度でもよいのではないか。
- ・あいさつ運動の持ち方を工夫したらどうか。
- ・体育館の備品について、耐用年数も考えて安全を判断した方がよいと思う。
- ・中学生はなかなか家庭学習が進まない。小学校としての手立てはどのようなものがあるか。

→全校で統一して「家庭学習カード」を作り、自身でチェックしたり、保護者にチェックしてもらうような体制をとっている。（笠原）

→自主学習の優秀な物は張り出し、担任のコメントなどを載せ、手本となるようにしている。また、「もっとやりたい、調べてみたい。」と思わせる授業づくりが大切だと考えている。今後は、高学年では、中学校へつながるような自主学習に取り組ませるようにしたい。（校長）

(2) 本年度の教育活動の成果と課題について（校長より）

(3) 次年度の重点についての協議（校長より）

(4) 班別協議と今年度のまとめ

【広報班：柳原、三木、宮田、新井】

- ・「学校運営協議会便り」は継続して取り組んでいく。テーマを決めて記事を作ったのはよかった。
- ・「采女っ子の活躍紹介コーナー」は、境北中、公民館でも掲示するなど、範囲を広げていく。また、境北中生の紹介も入れる。

【文化教養班：三澤、大谷、細谷】

- ・30年度の活動を継続していく。
- ・公民館での活動として、宿題などをやる子に対し、地域で何か関わることがあるか検討していく。また、公民館での活動を、短時間25分休みに披露する、中学生にも関わってもらえないかなど検討していく。
- ・読み聞かせの活動として、先生方に指導してもらって態度はよいのだが、子どもたちが緊張している。もっと子どもたちとの自然な交流ができればいい。

【健康安全班：新木、南雲、川田、笠原】

- ・廣川委員の紹介で、子どもセーフティネットから講話をしていただくことになった。
2月15日 対象：5年生 テーマ「携帯・ネットの安全な使い方」
(6年生は境北中の入学説明会で受けるため)
- ・小中合同あいさつ運動への参加は次年度も継続していく。
次回の合同あいさつ運動は、2月14・15日
- ・あいさつ運動後の振り返りの時間をとったり、高学年が低学年の指導をしたりするなどの工夫をしたらどうか。
- ・健康という方向では、学校保健委員会への参加も検討していったらよいのではないか。

4 連絡

- ・次年度の学校運営協議会の日程等についての確認
メンバーの変更があると思いますがよろしくをお願いします。

5 閉会